

脈さがし



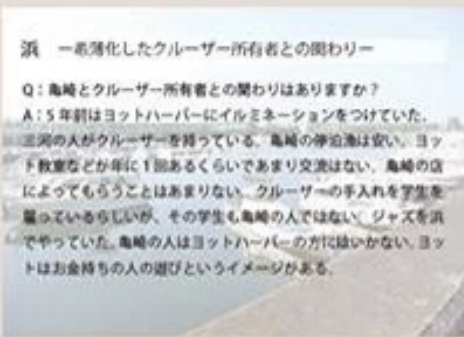
坂 一子供の頃から坂で健康づくり

Q:坂に対してもともと愛着があったりしましたか？
A:小さい頃は坂で遊んでいた。それぞれの遊びに適した坂があった。三輪車を下る坂はここ、自転車に乗る坂はここ、子供達が休憩する中で坂を遊んでいたという印象。子どもの頃から坂で健康づくり。年寄りか又も、杖、ジムの間に坂が通っているがなし。



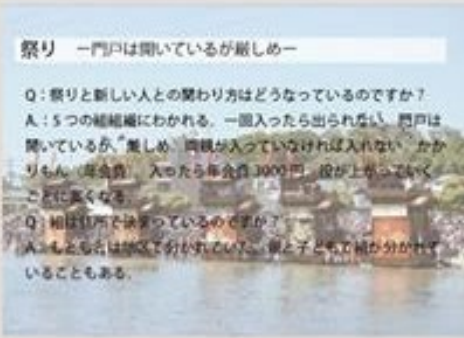
せこ 一子供の頃の遊び場

Q:せこで鳥崎の人はどう思っていますか？
A:せこは夏頃などは夏祭りがあつたため目が見られ、涼しく、心地よい。大きな車が入ってそれが分断されるようなまちづくりができた昔に比べ、車の良いものができるのではと思っています。
Q:せこでの思い出はありますか？
A:せこの思い出は遊び場、ビー玉を転がしたりかくれんぼをしていた。車が入ってこないの子どもに優しい。公園のトイレをせこで崩す計画もある。



浜 一高齢化したクルーザー所有者との関わり

Q:鳥崎とクルーザー所有者との関わりはありますか？
A:5年前はヨットハーバーにイルミネーションをつけていた。3列の人がクルーザーを持っている。鳥崎の停泊港は安い。ヨット教室などが年に1回あるくらいであり交流はない。鳥崎の店によつてもうこうとはあまりない。クルーザーの手入れを学生を雇っているらしいが、その学生も鳥崎の人ではない。ジャズを浜でやっていた。鳥崎の人はヨットハーバーの方に話しかけない。ヨットはお金持ちの人の遊びというイメージがある。



祭り 一門戸は開いているが厳しめ

Q:祭り新しい人との関わり方はどうなっているのですか？
A:5つの組織編にわかれる。一回入ったら出られない。門戸は開いているが、厳しめ。両親が入っていない入れない。カカリもん(年金前、入ったら年金3000円、役が上がる)に行くことになる。
Q:船は11月まで決まっているのでお祭りが？
A:もともと船は決まっていた。船と子どもで船が分かれていることもある。



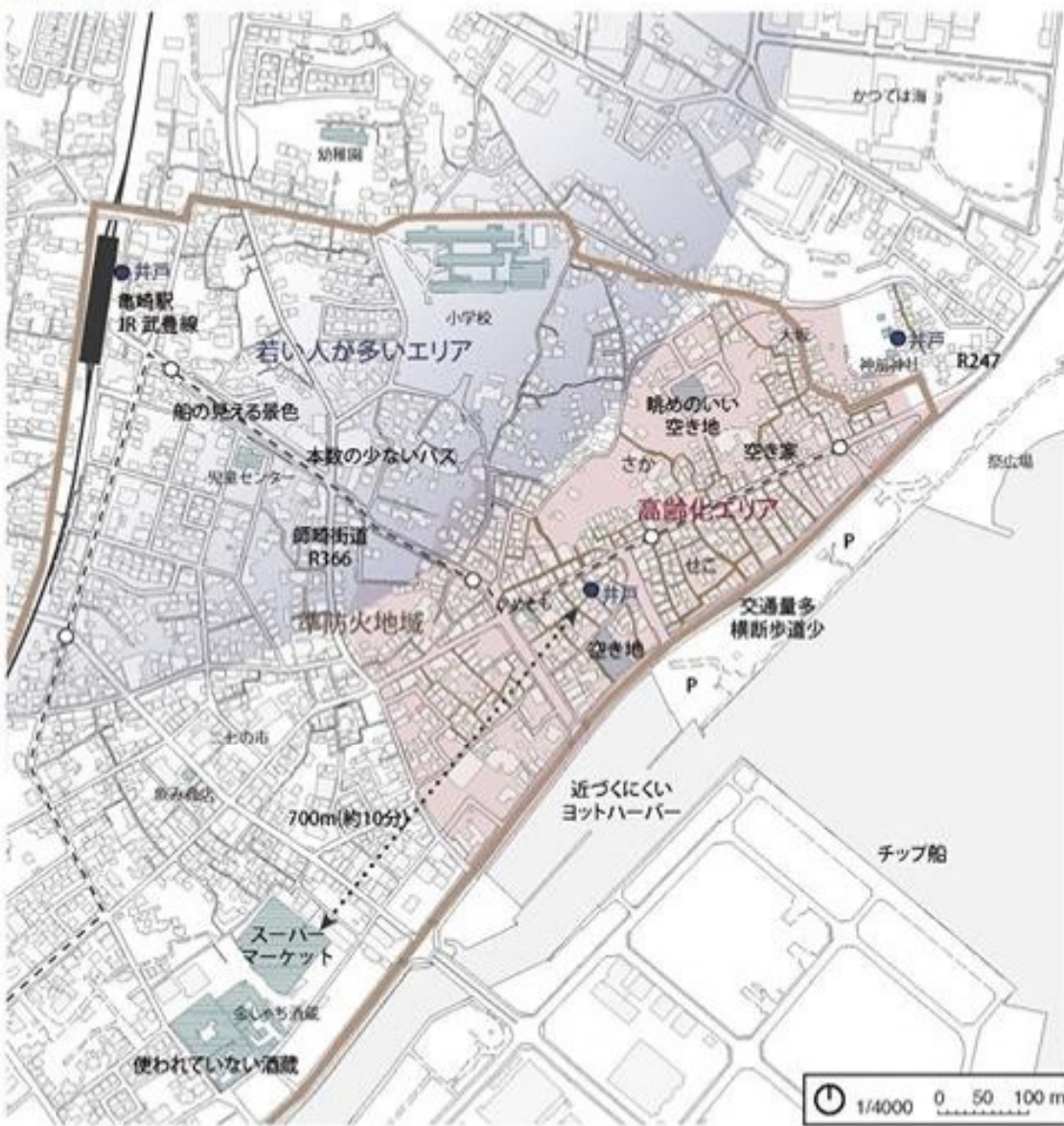
亀脈



～脈ありタツノ鳥崎～

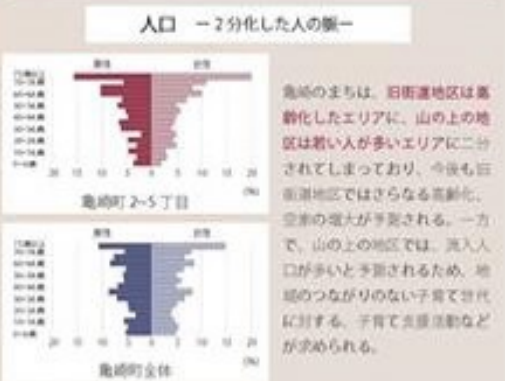


私たちのチームは、建築、ランドスケープ、IoT、モビリティと4つの異なる分野から構成されている。建築だけではなく、様々な視点やタイムスパンからこれからの鳥崎を考えていく必要がある。
この提案は、建築の再生にとどまらず、鳥崎という町そのものの再生の案となっている。



1/4000 0 50 100m

脈なしの状況



人口 一2分化した人の脈

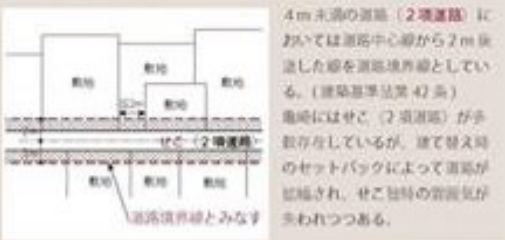


交通 一減少した交通手段

準防火地域 一失われつつある街並み



道 一消滅の危機にあるせこ

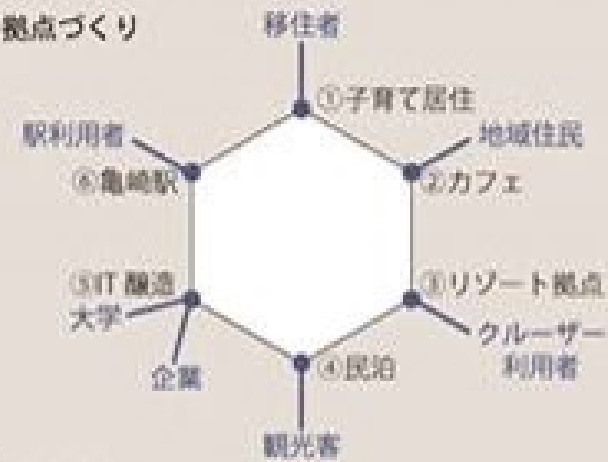


道路境界線とみなす

新亀崎モデル(亀脈)

亀崎のまちに6つの拠点をづくり、それぞれが脈を通してつながるモデルを提案する

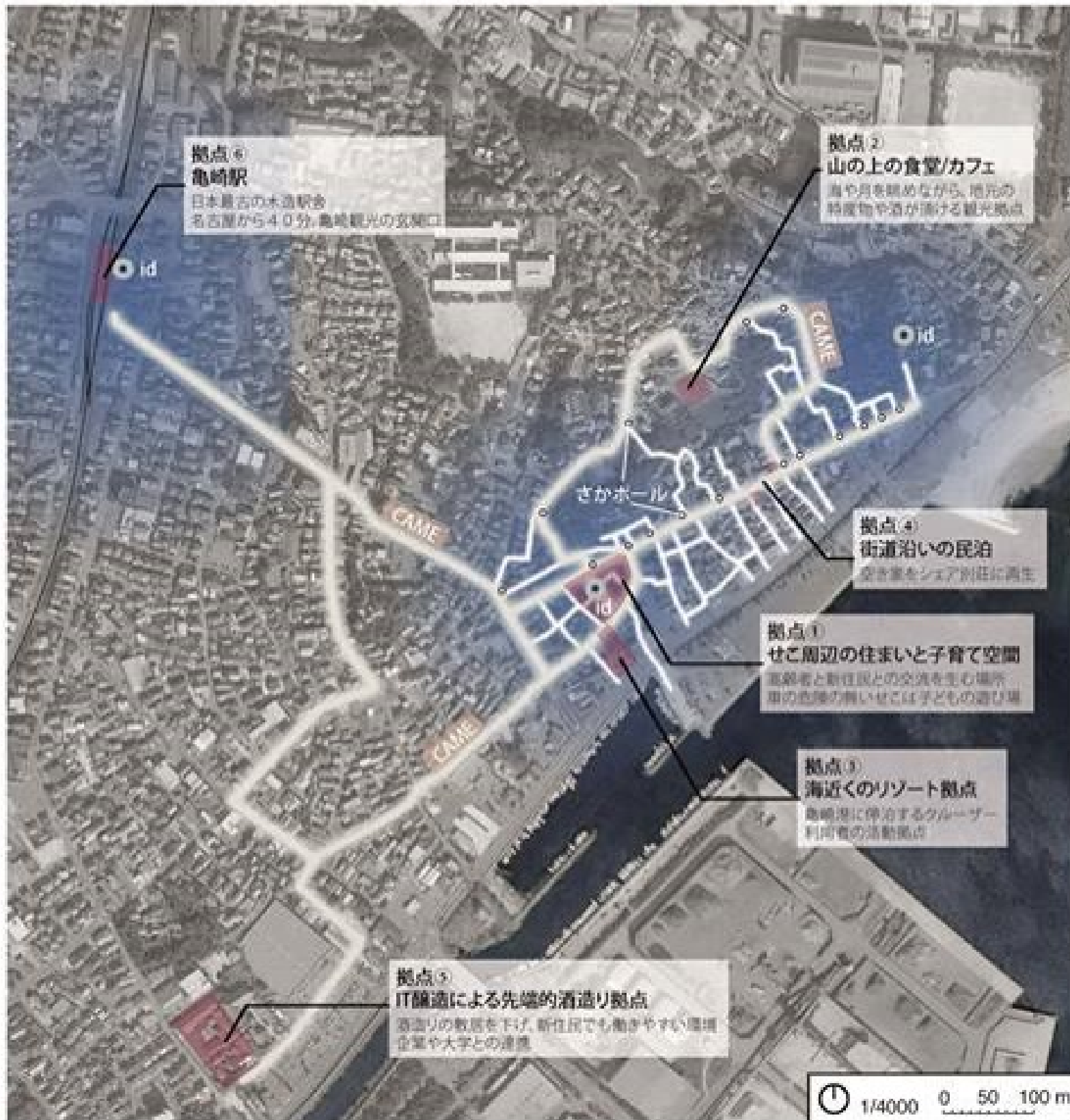
○拠点づくり



○脈づくり



id 街の賑わいの場



拠点⑥ 亀崎駅
日本最古の木造駅舎
名古屋から4.0分、亀崎観光の玄関口

拠点② 山の上の食堂/カフェ
海や月を眺めながら、地元の特産物や酒が楽しめる観光拠点

拠点④ 街道沿いの民泊
空き家をシェアが気軽に済む

拠点① せこ周辺の住まいと子育て空間
高齢者と新住民との交流を生む場所
車の免許の無いせこは子どもの遊び場

拠点③ 海近くのリゾート拠点
亀崎湾に停泊するクルーズ
利用者の活動拠点

拠点⑤ IT醸造による先端的酒造り拠点
酒造りの敷居を下げ、新住民でも働きやすい環境
企業や大学との連携

1/4000 0 50 100 m

拠点①における空間再生手法



4丁目の井戸のあるあたりでは、建物が密集して立ち並び、狭い路地空間をつくり出している。その建物の中には倒壊の恐れや防火上問題のあるものもいくつか存在している。また塀やフェンスなどが張り巡らされ、遠慮に閉鎖な状態である。



基準法43条似し書の利用
既存改修と新築の建築物の連続によって高層化。路地を敷地内道路とすることで、現在の空間的な価値を維持させながら、新築を可能にする。さらに防火、耐震、景観を向上させる。

脈づくり

id -IoT 井戸-



アクアトップディスプレイ
井戸の水にプロジェクターの映像を投影し、水溜をディスプレイにしたもの。直感的なタッチパネル操作で高齢者にとっても使い易い。スーパーの商品を選び、配達することも可能。井戸の「地域の集いの場」としての性質を継承する。



スーパーと連携し
新しい情報が映る

CAME -超小型電気自動車亀崎モデル-



6つの拠点を超小型電気自動車「CAME」でつなぎネットワーク化する。スーパー、IT醸造の商品を以て中心とした地区やカフェ、民泊へ送れる。

せこファサード -せこの空間性を残した新しいファサード-



防火、耐震、景観を向上させるようにファサードを再生する。せこの狭さを残すように閉じつつ、近所の生活が溢れ出てくるような開いたファサードとなっている。新しく入居した住人にも人間関係の調整がしやすくなっている。

さかボール -坂に景観以上の意味を-



坂の入口と出口に、人感センサー機能付きのボールの設置の提案。防犯、見守り、高齢者、子供の安全確認が可能。坂レコード
坂の上下に設置された「さかボール」のボタンを押すことで坂道ダッシュのタイムが計測でき、一番早い者は「レコード保持者」として名前が表示される。毎日の坂の上り下りが健康づくりにつながる。

町人間コンテスト

坂を自由に全国の人に貸し出し、坂をテーマにしたイベントを行ってもらおう。作ったショートムービーをyoutubeに載せ、全世界の人に亀崎を発信する。